

全国市長会の

動き

3月8日～4月4日

詳細につきましては、全国市長会ホームページ
(<http://www.mayors.or.jp/>)
をご参照ください。

#1 東日本大震災十周年追悼式に神出・ 海南市長、大西・熊本市長が参列

3月11日、国立劇場において、東日本大震災十周年追悼式が挙行され、本会からは副会長の神出・海南市長が、指定都市市長会からは大西・熊本市長が参列した。

〔総務部〕

#2 「緊急事態宣言解除後における地域 経済対策に係る緊急提言」を公表

本会では、3月21日の緊急事態宣言の全面解除を受け、3月23日、立谷会長名で「緊急事態宣言解除後における地域経済対策に係る緊急提言」を公表し、国においては、緊急事態宣言対象地域はもとより、それ以外の地域や飲食業以外の業種においても実効性ある経済雇用対策を公平に講じるよう、強く求めた。

〔社会文教部〕

#3 「過疎地域の持続的発展の支援に関する 特別措置法」の成立を受けて、過疎関係 都市連絡協議会会長の田村・八幡平市長 が談話を発表

3月26日、過疎関係都市連絡協議会会長の田村・八幡平市長は、「『過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法』の成立を受けて(談話)」を公表した。

〔行政部〕

#4 松本市、一宮市が中核市に移行

令和3年4月1日、松本市、一宮市の2市が地方自治法第252条の22第1項の規定に基づき、中核市に移行した。これにより、全国の中核市は62市となった。

〔行政部〕

都市格を磨く

金沢、まちづくりへの思い

山出 保 著

北國新聞社 定価1,760円(税込)

金沢市長を5期20年務めた著者が、2013年4月の『金沢の気骨 文化でまちづくり』から8年、その続編ともいえる『都市格を磨く 金沢、まちづくりへの思い』を上梓されました。

本書は、著者が市長在職中の体験と市政に臨んだ自らの所懐、思惟のあれこれをまとめて記述したものであり、金沢のこれからのまちづくりにおいては、基盤整備により「都市力」を高め、歴史文化施策を通じて、都市の文化的側面を求める「都市格」を磨くことの必要性が説かれております。時代がいかに変わろうとも、このことを不変の真理としてしっかりと施策に生かし、まちの持続的発展を期していかなばならないとするなど、まちづくりの本質を探る1冊です。

